

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 一榮	代表者	青野 正二	法人・事業所の特徴	理念一、私たちは、笑顔と感謝と思いやりを大切にします。二、私たちは、心に寄り添うおもてなしを提供します。三、私たちは、事業を通じ地域社会に貢献いたします。行動規範 私たちは、笑顔で、明るく、元気な挨拶を励行します。私たちは、心と体にある『生きる力』で自立を支援します。私たちは、すべての事柄を、相手の立場で考え・判断します。私たちは、常に相手を尊重し、正しく誠意のある行動をします。私たちは、『報・連・相』を実行し、風通しのよい職場を作ります。
事業所名	小規模多機能 いちえい保免	管理者	酒井 英彰		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	11人	0人	0人	1人	2人	6人	1人	22人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	地域の方には運営推進会議内で特に地域かかわりシートについて職員に質問・説明をしてもらいながら回答をして頂き、評価について双方に理解を深めていく。	今年度は新型コロナウイルスの感染予防の為、文書開催しており、会議内での地域かかわりシートについて職員と共に回答する事は出来なかった。	「次回までの改善計画」はわかりやすい表現・内容になっており良いと思います。家族への報告について确实正確に伝わるよう報告者を一本化する試みや申し送り、意見交換を重視する等、改善意欲が伝わり達成可能に思います。事業所自己評価については、今後も職員さんへ実施の目的や趣旨等、意識付けをされた上で行っていただきたいと思います。自分の立ち位置・知識・能力などで評価に差が出ると思います。施設の運営方針に基づく意識改革・意識統一も大切だと思いました。	新たに入職した職員・異動のあった職員には事業所自己評価の実施目的や趣旨、事業所の取り組みについて説明を行い、地域の方には地域かかわりシート記入について不明点がある部分・記入の仕方を職員が説明を行い、双方にサービス評価についての理解を深めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	セキュリティについては今のところ支障はないので、外部から入りやすい場所・良い雰囲気を作る為に、職員は社内研修・外部研修で接遇を学ぶ。	令和2年10月30日実施のカンファレンス時にブレインストーミングの話に交え職員に接遇研修（内部研修）を実施した。 令和2年12月20日～令和3年1月29日、高齢者虐待の内部研修をアンケート及び文章開催で実施し職員全員の意識統一を図った。	事業所の近くに交通量の多い国道・県道がありますので利用者の離所にはくれぐれも気をつけてください。 接遇は全てに通じるのでよろしく願います。	外部の方の来訪には新型コロナウイルスの感染に留意し、入館について可否判断を行って来訪者・利用者・職員にとって良い環境の場をつくる。

<p>C. 事業所と地域 かかわり</p>	<p>一定の職員だけが地域とのかかわりを持つのではなく、事業所の職員一人一人が地域とのかかわりを持てるよう、まずは地域のイベント・行事に参加していく。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染予防の為、地域のイベント・行事に参加できていない。辛うじて館内のイベントを外部との交流を断って行える程度であった。</p>	<p>積極的に地域との交流に取り組む姿勢が伺え、地域に根ざした事業所になろうとする意欲を感じます。 新型コロナウイルスの影響は大きく地域とのかかわりが困難ですが何か代替え案の検討が必要かも知れません。 今後も積極的に地域との交流に取り組み、信頼関係も構築できますので地域に頼りにされる事業所になってください。 イベント・行事が自粛されていく中、それらに参加することもできない状態で、どう地域とつながっていくのか考えていく必要がありますね。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染に留意し、事業所内での活動や利用者の方の様子等の情報を地域の方に文書等を活用して発信して地域との関わりを絶たないようにする。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>利用者の方と地域の方との関係を持つ為に、地域でのイベント・行事への参加や運営推進会議への参加をして頂けるように利用者の方に働きかける。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染予防の為、運営推進会議を文書開催しており、利用者の方と地域の方との関わりの方は持っていない。</p>	<p>利用者個々の地域とのつながりが大切であることは理解できますが、事業所によっては利用者の住んでいる地域が広範囲に及ぶ所もあり、人員・時間などに余裕があるならば取り組みも可能でしょうが、そこまで求めるのは無理があると思います。まずは、事業所が所在する保免地区とのつながりを最優先にするべきだと思います。 「出向く」というむずかしさを感じれます。地域に対する周知活動など課題もみえてきた感じです。 仲々地域の人達と逢う事がむずかしいので仕方無いですね。 新型コロナの影響で地域活動や行事が中止となり、結果として改善に至らなかった事はやむを得ないと思います。 地域密着型の使命であると思いますが、今の時期の関わり方はむずかしいと思います。コンタクトが取れた方と信頼関係を深めて頂ければよいと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防の為、イベント・行事への参加は見合わせ、参加できる状況になれば感染に留意してイベント・行事に参加をする。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>事業所の利用について相談しやすい場を作る為に、事業所の利用状況・問い合わせ状況等を運営推進会議内で出来る限り公表する。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染予防の為、運営推進会議を文書開催しており、運営推進会議内での情報の発信が出来ていないが、意見・要望を徴収した後、意見・要望についての回答が出来ている。</p>	<p>事業所で開催された会議では地域の方をはじめ多様な方々が出席され、活発な意見交換ができていた点が素晴らしいと思いました。この点を取っても地域との関わりができていたと感じました。</p> <p>事業所の取り組みの理解や地域と一緒に取り組む等、スタッフの理解度がうかがえます。</p> <p>他の事業所では、会議の中で事故報告やヒヤリハット報告を行っているところがあります。事業所にとっては負の部分かもしれませんが、報告することでより開かれた事業所として認識されるのではないかと思います。今後検討してみてもいいのでしょうか。</p> <p>運営推進会議ということを知ってスタッフが理解され会議の決議を改善につなげている様子が数字に示されていると思います。</p> <p>いつも地域の方が多く参加されている印象があります。</p> <p>わからないとの方が多くいます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防の為、運営推進会議を文書開催とさせていただく間は、文書内で事業所の取り組みや活動内容、利用状況や事例検討の情報を発信し、地域の方から意見・要望を募って意見・要望の改善につなげる。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>今回懸案であった事業所での消防訓練に運営推進委員の方に参加して頂いたので一定の取り組みは終了。防災・災害対策は大切な事なので今後も継続して取り組む。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染予防の為、地域の方を事業所の消防訓練にお誘い出来ていないが、職員は消防訓練に参加した。</p> <p>松山西消防署西部支署との事前協議の結果、署員の皆様の立ち合いもしい事となった。</p>	<p>今年度は新型コロナの影響で、地域の防災訓練に参加できなかったのはやむを得ないと思います。</p> <p>誰の出勤日に災害が発生するとは限りません。全員が防災計画の周知と訓練の参加を目指して頂きたいと思います。</p> <p>職員さんは大変だと思いますが、様々な訓練を積むことでいざというときに役立つと思いますので頑張ってください。</p> <p>保免地区で山崩れの災害はありません。その場所に合った訓練を実施・参加をお願いします。</p> <p>防災訓練は全スタッフが参加し、定期的な訓練でいつ誰が出勤している時でも対応できるようにしておく必要があると思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防の為、地域の方に事業所で行う訓練には参加は見合わせていただき、参加できる状況になれば感染に留意して事業所の訓練に参加していただく。</p>